

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2020年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務			作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株	
工期	令和3年4月21日 ~ 令和4年3月30日			作成者	鈴木 悠平	
作業名称	エラス、植生撤去工		作業手順書	作成年月日	令和3年4月20日	
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	高所作業車、連絡車			改正年月日		
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	片手ノコギリ、カッターナイフ、ペンチ、土嚢袋、草刈鎌			現場責任者	自筆サイン	
				協力会社	会社名	
保護具	ヘルメット、手袋、安全带			協力会社責任者	自筆サイン	
	①自動車運転免許証(中型)、②高所作業車技能講習				作業順序	
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す				1	現地確認	
				2	準備作業	
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	①作業責任者 1人、②作業員、上空監視員 1人、③高所作業車操作者 1人			3	高所作業車の配置	
	合計 3名			4	エラス撤去	
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	日置 康紀	周知会実施日	令和3年3月31日	5	後片付け
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)				6	
					7	
					8	

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
(誰が)	主なステップ	作業のポイント							
現地確認 (全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認	構造物の確認							
準備作業 (全員)	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							
高所作業車配置 (全員)	作業箇所確認し、高所作業 車を配置する。	ハンドル切り、サイドブレー キ、輪止め	車両が勝手に動き出し規制外へ出て一般車 と衝突する。	△	×	△×	4		ハンドル切り、サイドブレーキ、輪留めをしっかりと行う。
	有資格者によりアウトリ ガーを張り出す。	周囲確認、声掛け	アウトリガーに挟まれてケガする。	△	×	△×	4		周囲を確認し声掛けをおこない、アウトリガーを張り出す。
	前輪、後輪の順番でジャッ キアップする。	水平確認	不安定な箇所ではジャッキアップし転倒する。	△	×	△×	4		敷板を設置し、安定な箇所ではジャッキアップする。
エラス撤去作業 (作業員、操作者、 上空監視員)	目標位置を確認し、ブーム を操作する。	周辺設備確認	デッキ部が周辺設備に接触し破損させる	○	×	○×	5		上空監視を行い接触する前に、警笛等で知らせる。
	カッター等を使用しエラス、 瓦等を撤去する。	安全帯着用	デッキ部から身を乗り出し転落する。	△	×	△×	4		安全帯を着用し無理な体制で作業しない。
		落下物注意	撤去したエラスが落下し一般車に当たる。	△	×	△×	4		撤去後は土嚢袋等に入れ飛散しないようする。
充填作業 (作業員、操作者、 上空監視員)	テールアルメの隙間に発砲 ウレタンを詰め込みコーキ ングを充填する。	落下物注意	作業中に道具が落下し、一般車に当たる	△	×	△×	4		道具に落下対策を行い、作業ヤードを整理整頓する。
	周辺を確認しブームを格納 する。	周辺設備確認	デッキ部が周辺設備に接触し破損させる	△	×	△×	4		上空監視を行い接触する前に、警笛等で知らせる。
後片付け (全員)	車両洗車 道具整備・後片付け	道具の損傷有無確認							